

**(一社) 配管技術研究協会主催 2019年度第1,2回講習会**  
**配管基礎総合講座 - 配管の総てが分かる2日間コース -**  
**(協会法人会員割引特典有り：入会歓迎)**

配管技術研究協会として、このたび配管に関する体系立てた教育の一環として、配管技術全般について若手配管技術者のための配管基礎総合講座を開設いたしました。

本講習会は下記の内容から構成され、配管技術全般を網羅した内容となっており、配管技術について短期に一貫した教育を受けたいと思われる方々のために、2日間に集約して講習会を企画いたしました。

- ①管、継手の材料とその活用
- ②配管強度についての考えとその計算方法
- ③配管系における圧力損失の考え方とその求め方
- ④配管配置に対する考え方とその手順
- ⑤配管系の主要構成物である弁全般について
- ⑥配管ラインの応力解析手法と配管支持装置について
- ⑦現在の配管エンジニアリングの主流である3D-CADの活用方法について

配管全般にわたって短期間に習得できる良い機会ですので配管に関わる多くの技術者の参加をお待ち致しております。

又、社内教育の一環として、本講習会をご活用戴くようお願い申し上げます。

尚、当協会販売致しております、圧力損失計算ソフトおよび配管強度計算ソフトを受講者全員に無償にて配布いたします。今後の業務においてご活用下さい。

記

開催日時： ①関東開催：2019年6月27日(木)、28日(金) 9:00～17:00

②関西開催：2019年7月18日(木)、19日(金) 9:00～17:00

開催場所： ①関東開催：機械振興会館 6階 6D-4号室

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 TEL03-3434-8216

②関西開催：尼崎市中小企業センター：5階 501研修室

〒660-0881 兵庫県尼崎市昭和通2丁目6-68 TEL06-6488-9501

定員： 関東、関西開催 各60名

会費： 会員：50,000円、非会員：60,000円 (テキスト含む)

主催：(一社)配管技術研究協会

協賛予定：(一社)日本機械学会、(一社)火力原子力発電技術協会、(一社)ターボ機械協会、  
高圧ガス保安協会、(一社)日本鉄鋼協会、(一社)石油学会、(一社)腐食防食協会  
(一社)日本バルブ工業会、(一社)日本船舶海洋工学会、(一社)化学工学会、  
石油化学工業協会、(順不同)

申込方法：4面に記載。E-mail・HPまたはFAXにてお申込みください。

申し込み後 折り返し、参加証と会場地図、参加費のご請求書を郵送させていただきます。

お問合せ：(一社)配管技術研究協会 東京都文京区本駒込6-3-26 TEL:03-3944-4575

備考：関東開催および関西開催における講習内容は同じものです。

一部講習順番の変更ならびに講師の変更がある場合がありますのでご了承下さい。

(今回の講習会にあわせて法人会員となられた方も会員会費となります。)

# 配管基礎総合講座

- 配管の総てが分かる2日間コース - 第1日目プログラム

時間・テーマ	講師
<b>第1日目 9:00~11:00 鋼製 管</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 管の製法（シームレス管、シーム管）</li> <li>* 管材質とその特徴（添加元素の働き、熱処理その他）</li> <li>* 材料選定手法（炭素鋼、合金鋼、ステンレス鋼の選定）</li> <li>* 配管材料の強度（許容応力の考え方 他）</li> <li>* 炭素鋼、低合金鋼、ステンレス鋼等材料別強度の特徴</li> <li>* 配管材料規格</li> <li>* 高温強度、疲労強度</li> <li>* 材料強度と応力集中</li> </ul>	<p>JFE スチール(株) 鋼管企画部</p> <p style="text-align: right;">大槻 博史 殿</p>
<b>第1日目 11:10~12:40 鋼製 管継手</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 管継手の種類と分類</li> <li>* 管継手の規格</li> <li>* 管継手の使い方</li> <li>* フランジの選定</li> </ul>	<p>(株)サンユー 取締役 社長 越智 徹明 殿</p>
<b>第1日目 昼食 12:40~13:30</b>	
<b>第1日目 13:30~15:00 一般弁</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 手動弁について(種類、構造、特徴)</li> <li>* 弁の仕様について</li> <li>* 自動弁について(空圧式、電動式)</li> <li>* 弁の選定について</li> </ul>	<p>(株)キッツ カスタマー技術部 テクニカルサービスグループ ライン長 田中 弘之 殿</p>
<b>第1日目 15:10~17:00 配管応力解析と支持装置</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 配管系における応力解析の考えかた</li> <li>* 配管応力解析基準</li> <li>* 配管応力解析結果の評価手法</li> <li>* 配管応力解析と配管支持装置との関係</li> <li>* 配管支持装置の種類と用途</li> <li>* 配管支持装置計画上の留意点</li> <li>* サポートポイント決定手法</li> </ul>	<p>日本発条(株) 産機事業本部 伊勢原第二工場 技術一課</p> <p style="text-align: right;">有吉 崇 殿</p>

- 配管の総てが分かる2日間コース - 第2日目プログラム

時間・テーマ	講師
<b>第2日目 9:00～10:30 配管圧力損失の実際</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 管圧力損失計算基本式</li> <li>* クレーン社の方法</li> <li>* 各種実用式</li> <li>* 拡大、縮小、管継手・弁の損失係数</li> <li>* 管圧力損失計算の実際</li> <li>* 水力勾配線図</li> </ul>	<p align="center">(一社) 配管技術研究協会 参与</p> <p align="center">西野 悠司 殿</p>
<b>第2日目 10:40～12:10 圧力を受ける管の強度の基本</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 管、継手等圧力を受ける配管部品に関し、内圧、外圧に対する強度計算の考え方及び強度計算式について</li> <li>* 許容応力等強度計算に適用するパラメータの解説</li> <li>* 強度計算に関するASME等規格の解説</li> </ul>	<p align="center">三菱日立パワーシステムズ㈱ エンジニアリング本部 長崎プラント技術部</p> <p align="center">坂越 浩二 殿</p>
<b>第2日目 昼食 12:10～13:00</b>	
<b>第2日目 13:00～14:30 火力/原子力発電プラントの配管設計</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>* プロットプラン</li> <li>* 機器配置計画</li> <li>* 配管の基本設計について</li> <li>* 配管ルート計画手順</li> <li>* 配管ルート計画の基本事項</li> <li>* 配管詳細設計について</li> </ul>	<p align="center">東芝エネルギーシステムズ㈱ 技術顧問</p> <p align="center">湯原 耕造 殿</p>
<b>第2日目 14:40～16:10 3D-CADのプラント設計実務での運用</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 各種3D-CAD、解析ソフト及び2D-CADを用いた配管エンジニアリングの運用状況について</li> <li>* 2Dプランから3Dモデルへ</li> <li>* 3D-CADからの図面展開</li> <li>* 3D-CADの利用方法</li> </ul>	<p align="center">東芝プラントシステム㈱ 電力プラント事業部 電力設計部 配管設計グループ GPM</p> <p align="center">中澤 桂一郎 殿</p>
<b>第2日目 16:20～17:00 圧損、管強度計算ソフトの使い方</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>* 圧力損失計算ソフトの使い方</li> <li>* 配管強度計算ソフトの使い方</li> <li>* 計算ソフト実施例</li> </ul>	<p align="center">(一社) 配管技術研究協会 執行理事</p> <p align="center">越智 徹明 殿</p>

申込方法: E-mail・HP: <http://haikan-kyokai.jp/>またはFAXで以下の方法でお申し込みください。

配管技術研究協会事務局 (E-mail: [hs@nikko-pb.co.jp](mailto:hs@nikko-pb.co.jp)) 宛てにメールで

タイトルに「2019年度第1回講習会」または「2019年度第2回講習会」参加申し込みと記載の上、

(1) 請求書宛名 (会社名) ※特別会員の場合は会社名の後に (会員) と明記ください。

(2) 請求書送付先〒住所 担当者所属・氏名・電話番号

(3) 参加者 氏名 (4) 参加者 所属 (部署名) (5) E-mailアドレス

※参加者の会社名 (学校名) は (1) の請求書宛名に記載していただき、(4) の所属には部署名のみ記載ください。

※参加者が複数の場合、(3)～(5)を参加人数分記載ください。

**FAXで申し込みの場合、下記に記入の上 FAXでお送りください。**

### <2019年度 参加申込書>

(一社) 配管技術研究協会 宛 FAX: 03-3944-6826

関東参加 (第1回講習会) ・ 関西参加 (第2回講習会)  
(6/27, 28 開催) (7/18, 19 開催)

※上記の何れかに○を付けてください。

受講者氏名	ご所属	E-mail

請求書・受講票送付先  
会社名 (学校名):  
ご担当者所属:  
ご担当者名:  
電話番号:  
E-mail:  
ご住所: 〒           —

配管技術研究協会 会員・非会員 いずれかに○をお付けください。

参加費は請求書が到着後開催日までに銀行振込にてお支払い下さい